唐土訓蒙圖彙　序目　自一至二

目次

名曰唐土訓蒙圖彙都若干卷請序於余遂書而遺諸享保戊戌仲春之望玉井

直道題

叙

天地之間萬物生焉圖以象之者難以盡焉此漢土圖書之撰之所以辨物考諸説書以類而求觀之圖畫以釋其性使童蒙人知識草木禽獸之

不爲所以然也當
籍之未盡也蓋已之述
以示見地之學識並強
今來首唐音宣以在
學術業以收與物之首
剿跡寶之者周學來之

為雖難澀之業較撥
雅載式議比已之法
乃可知示出人論固周格
物窮理之分所以寄於玄
然猶之未盡其半一也好為
十年以來名同唐之訓

蒙圖之業既備畫手於
有毅子以寫實文重之
索文字旨享深之已矣至哉
浪華 守任寺菴書

唐土訓蒙圖彙摠目録

〇巻之二　地理

〇巻之三　宮室

坊 房 暴室 帷薄
廟 學 皐門 應門 辟雍
泮宮 田盧 守舎 牛室
倉 廩 庫 庾
囷 京 竇 圏
登司 郭 城 橋
維舟 鈎橋 祠堂大 民社
祠堂小 夫子宮壇前後之圖 廟
皇城圖 大學校

○巻之四 人物 君臣 佛仙 萬国人

渾沌氏 天皇氏 地皇氏 伏羲氏
人皇氏 神農氏 軒轅氏 陶唐氏
有虞氏 夏禹王 商湯王 周武王
楚項王 漢高祖 漢武帝 漢光武
漢昭烈 魏大祖 呉大帝 晋武帝
梁武帝 唐大宗 唐則天 唐玄宗
宋大祖 元世祖 明大祖 倉頡
伯夷 周公 大公望
先聖孔子 顔子 曾子 子思
孟子 荘子 屈原 張良

韓信　司馬遷　嚴子陵　諸葛孔明
關羽　王逸少　陶淵明　杜子美
李太白　韓退之　柳子厚　賈浪仙
白樂天　司馬温公　張横渠　邵康節
程伊川　程明道　周濂溪　歐陽永叔
陸子静　朱晦菴　黄山谷　蘇東坡
許魯齋　薛文清　王文成　釋迦牟尼佛
白衣觀音　南海觀音　真武帝君　魁星圖
丁酉神將　丁未神將　丁卯神將　丁巳神將
丁丑神將　丁亥神將　甲子神將　甲戌神將

甲午神將　甲申神將　甲辰神將　甲寅神將
太上老君　天駟之神　西王母　彭祖
東方朔　呂洞賓　張果老　陶弘景
王質　陳圖南　君子國　黒契丹
扶桑國　巴赤舌　包石　吾涼愛達
阿思　無連蒙古　紅夷　女暮樂
土麻　阿里車盧　乾魯國　擺里
深烈大　大羅國　米牙金彪　鐵東
後眼國　歇祭　波利　乞黒奚
骨利國　木思奚德　昏吾散僧　方連魯

黒蒙國　訛魯　三伏駄國　木直夷
獠　西洋國　近佛國　烏伏部國
文身國　道明國　義渠國　蘓部識匿國
乾陀國　龜茲國　烏孫國　正瑞國
新千里國　擔波國　撒馬兒罕　丁靈國
長脚長臂國

巻之五　人物

大明　大清　賀蘭　匈奴
兀良哈　麻阿塔　日蒙國　大漢國
一目國　婆登國　眴剌普剌　哈蜜國

吐蕃　佳輦國　馬羅國　野人國
卬都丹　一臂國　逐波係黒和尚
七番耕山　黒瞎國　悄國　入不國
氐人國　猴猻國　鳩尼羅國　西南夷
蜒三蠻　西番國　盤瓠　交趾
賓童龍　老撾國　真臘國　瓜哇國
佛囉安國　三佛齋國　回鶻　于闐國
沙弼茶國　大食勿抜　大食弼琶羅國
木蘭皮國　女人國　烏衣　大闍婆國
麻離抜國　孝臆國　狗國　東印度國

巻之六　人事

○巻之七　器用　古器 圭璧 樂器 射器

大圭　冒圭　璧羨　琢

圭璋　兩圭有邸　玄璜　四圭有邸

蒼璧　黄琮　琬圭　琰圭

大璋　組琮　大琮　穀圭

赤璋　白虎　蒲璧　穀璧

繅藉　繅藉　蒲穀繅藉　璊玉瓛

拱璧　琱玉幡鎬　水蒼珮　連環印鈕

鹿盧　玉環玦　玉璧邪　琥

琫珌　琱玉魚龙環　蒼玉玲　瑶玉充耳

黄玉珈　璊玉馬黄玉人　玄玉驄　璲

佩刀柄　漢雙觿鉤　銅虎符制　海馬葡萄鑑

慱山香爐　漆刀筆　杖頭　漢龍提梁

削　刀圭　量　並挹府漏壺

古制蓮漏　今制蓮漏　古斛　今斛

鏞　鎛鐘　編鐘　歌鐘

金錞　錞于圖　天球　編磬

大小箎　大小竽　古缶　拊

鼓足　建鼓　雷鼓　靈鼓 三圖

路鼓 三圖 鼗鼓　鼖鼓　晉鼓　應鼓

鼙鼓　鼛鼓　鼜鼓　崇牙植羽

業　璧翣　簨簴　柏板 撃甌
方響　筑　焦尾　點子
銅鼓　雲鑼 手鼓　畫角　魚鼓簡子
土鼓　梧桐角　竹銅鼓　羽舞皇舞
帗舞璧翣　旄舞　戚　干舞
節麾　翟　纛旌　掆
應　牘雅　金鉦　金鐃
侯 射器 豹侯　熊侯　大侯　麋侯
二正侯　獸侯熊首　兕中　皮豎中
鹿中　閭中　豻侯 獸侯虎豹首　獸侯鹿豕

五正侯　虎中
○卷之八　器用 舟車 兵器
舫舩　航舩　划舩　尖尾舩
鷹舩　漁舩　兩頭舩　蜈蚣舩
遊舩　蒙衝　樓舩　走舸
閘[illegible]　海鶻　皮舩　木罌
蒲筏　械筏　火舩　輅托轅 車制
大輅圖　蹲龍　兼轅　輞圖
周元戎圖　秦小戎圖　墨車　重翟
鳩車　大車圖　指南車圖　旂鈴

蒺藜　蒜頭　鐵鞭　雙鐵鞭
鐵簡　鐵鏈夾棒　訶藜棒　鉤棒
提棒　杵棒　白棒　抓子棒
狼牙棒　搗馬突鎗　劍　筆刀
手刀　掉刀　鞞　雙鉤鎗
單鉤鎗　環子鎗　素木鎗　大斧
屈刀　偃月刀　戟刀　眉尖刀
鳳嘴刀　鵐項鎗　錐鎗　梭鎗
槌鎗　大寧筆鎗　拒馬木鎗　拐突鎗
抓鎗　拐刃鎗　摽鎗　長鎗

梨花鎗　砲車　威遠砲　地雷連砲
飛炬　鐵火床　遊火鉄箱　引火毬
蒺藜火毬　鐵嘴火鷂　竹火鷂　火樓
火罐　横筒　撥練杖　注桄
杓　沙羅　通錐　霹靂火毬
鉤錐　火鈴　烙錐　烙鐵
迅雷砲　鍁鎗　鎗柄　銃棍
火鎗　五雷神機　三捷神機　萬勝佛狼
子砲　皮袋　鑽架　地湧神鎗
攂足殺馬風鎌　藥囊藥瓶　彈撲　嚕密鳥銃

筒底　前口　火門　下軓上軓

轉輪　大追風鈴

○巻之九　器用　兵器　雑器　督録織　農具

震天雷　佛狼機　鳥嘴銃　鳥銃細式

子母炮　一窩蜂　天墜砲式　地雷式

火妖圖　飛天噴筒　內廣藥箭　唧筒圖

天蓬鏟式　蓑笼　棍式　鉤竿

剉子斧　义竿　望樓　水平

照撥廣竿　飛組式　浮囊　垂鍾版

篦籬笆　竹皮笆　拘脚木　木馬子

牌版　暗門　地澁　鐵蒺藜

攔蹄　鉄菱角　木檑　夜叉檑

磚檑　泥檑　車脚檑　狼牙拍

飛鉤　水囊　麻搭　水袋

唧筒　鉄撞木　下城絞車　縋梯

皮簾　氈簾　地道　頭車

屏風笆　木馬子　上頭車梯　掛搭緒棚

壕橋　雲梯　鉤鐮　鉄骨朶

留客住　請入拔　鑑　龍吒

梅吒　星鎚　內月牙　外月牙

鋼鞭　三節刀　文叉　武叉

銅拳　梳結　梛（雜器）　典鐘

旋（二圖）　𢮦　書燈　松火

葛燈籠　影燈　擎燈　篝

烏府　篝　斂帚　捎箕

斂器　佳文席　竹夫人　藥瓢

挾囊　曲輪　裂文　奩

將樂研山　靈璧研山　毛邊紙　竹紙

法帖　烏絲欄　凍石　匱積

攤架　醉翁椅　竹椅　藤几

天禪几　床帳　倒鼈氣　佛郎瓷

千里鏡　酒棋　銅杓　臺盤

大極尊　葫蘆樽　偏提　老尾盆

瓢杯　椶將軍　鑻（二圖）　貝光祿

桑几（蠶織）　桑撈　斫斧　桑鈎

桑籠　切刀　劖刀　桑網

蠶槌　蠶椽　蠶筐　蠶杓

蠶架　蠶網　蠶箔　蠶槃

繭甕　蠶簇　繭籠　北繅車

絡車　經架　煮繭滑車　綿矩

錦機　木綿彈弓　木綿捲莛　木綿經牀
木綿線架　砙車　礰毒　木礰礫
劉刀　勞　刮扳　平板
輥軸　長鑱　禾鉛　篗車
𤃠槃　瓠種　種簟　蕣馬
秧馬　田漏　喬扦　麥笐
擴稻簟　篩穀箉　穀杷　小杷
耘杷　麥彩　掘刀　鑁
竹揚杴　禾鉤　搭爪　哮鞭
穀盅　秧彈　拖杷　抄竿

麥綽　麥籠　積苫　穀匣
笓　簟　箔　蹠
籮　篁　斵　颺籃
漉米䉂　木笥　架槽　高轉筒車
水轉翻車　牛轉水車　筒輪　刮車
水利羅　水排　水碓　水磨
水磨　水轉連磨　礱圖　石輾
海青輾　扇米風車　颺風飛　僭

巻之十　衣服儀制　珍寶

大裘　衮冕　鷩冕　毳冕

希冕　毳弁　爵弁　皮弁
玄端　侯伯鷩冕　燕服　上公袞冕
卿大夫玄冕　子男毳冕　狐希冕　士皮弁
揄狄　褘衣　展衣　闕狄
鞠衣　褖衣　母追　章甫
周冕　麻冕　綦弁　緇冠
漢冕　委貌　外幘冠　緇撮
皮弁　雀弁　臺笠　皮冠
五積冠　烏沙巾（万福）　帷帽　面衣
幅巾　綸巾　儒巾　大帽

諸葛巾　忠靖冠　治五巾　雲巾
東坡巾　紗帽　漉巾　四周巾
純陽巾　老人巾　將巾　鳳翅
鍜鬚盔　金貂巾　纏粽帽　束髪冠
三山帽　氊笠　韃帽　雷巾
道冠　僧帽　芙蓉帽　吏巾
皂隷巾　衣　裳　虞書十二章
九罭衮衣　九罭繡裳　服　狐裘
羔裘　冠緌　瑱　雜佩
綏　繶　帨　觿

屨　褋　褅　方心曲領
大帯　絛　扉　毳
木袈　寫　冠 内外命婦冠服　髻
釵　鐶　面花　満冠
两博鬢　釧　指鐶　霞帔
僧衣　道衣　頭盔 入甲　掩膊
頭頂身甲　粤兵盔甲　面簾 馬甲　半面簾
鷄項　盪胷　馬身甲　搭後
虎豹　馴象　仗馬　戈氅
戟氅　儀鍠氅　黄蓋　大繖

華蓋　雉扇　繒扇　朱雀幢
玄武幢　青龍幢　白虎幢　五明扇
大豹尾　龍頭竿　告止旛　傳教旛
信旛　麾旛　旗竿　龍旗
北斗旗　門旗　日月旗　青龍旗
白虎旗　朱雀旗　玄武旗　雲旗
雷旗　風旗　雨旗　四瀆旗
五嶽旗　五星旗　天祿旗　天馬旗
白澤旗　熊旗　羆旗　鸞旗
麟旗　方相魌頭　窣陀僧 珍寶　菩薩石

白石英　石膏　方解石　不灰木
無名異　井泉石　蜜栗子　石鐘乳
土殷孽　禹餘糧　空青　礜石
金牙石　婆娑石　青礞石　花乳石
白羊石　金剛石　菫石　麥飯石
水中白石　石燕　石蟹　石蛇
蛇黄　霹靂礁　硇砂　凝水石
當門子　牛黄　熊膽　戎鹽
井塩　池塩　石塩　石炭
膠井　火井　油井　花紋石

○巻之十一　艸木

蓍　鐵掃箒　吉祥草　美人蕉
黄精　萎蕤　柴胡　黄芩
天麻　薺苨　黄蓍　人参
玄参　沙参　丹参　紫参
拳参　杏参　甘草　知母
貝母　前胡　升麻　徐長卿
淫羊藿　貫衆　仙茅　白頭翁
白前　白及　白蘚　白薇
地楡　平地木　茅藤果　胡黄連

黄連　纍五口　金莖花　秋牡丹
三七　萬年青　金星草　骨碎補
景天　紫背金盤　地錦草　石莧
崖椶　石長生　當歸　肉豆蔲
白豆蔲　白芷　蓬莪　京三稜
蓽撥　鬱金　補骨脂　零陵香
獨頭蘭　茅香　木香　杜若
莎草　薄荷　藿香　高良姜
益知　縮沙蜜　井松香　香薷
茉莉　藁本　蒟醬　天門冬

菟絲子　葎草　白藥　紫葛
赤地利　預知子　千里光　使君子
纏枝牡丹　鐵線　馬兜鈴　天壽根
威靈仙　白英　何首烏　番藷
通草　眉兒豆　山豆根　南瓜
金鵞蛋　西瓜　括樓　羅摩
石南藤　獨用藤　瓜藤　含春藤
血藤　釣藤　百陵藤　祈婆藤
列節　落葵　落雁木　百部
石合草　鵞抱　木鼈子　千歳藟

羊乳根　大青　小青　麻黄
地黄　葫蘆巴　紫苑　雞腿兒
九牛草　陸英　水英　白蒿
穀精草　曲節草　馬鞭草　茳芏
鱧腸　陰地蕨　葶藶　海金沙
蛇含　青葙子　敗醤　續斷
龍葵　王不留行　筆頭菜　火炭母草
海根　草綿　天名精　決明子
連翹　山鐵蕉　覇王樹　肉蓯蓉
丁香加茵　鹹草　黄瓜菜

卷之十二　艸木

龍鬚菜　鷓鴣菜　澤瀉　大藕兒
燕子花　浮薔　牛尾瘟　眼子菜
燈蘢兒　水菜　鵝兒腸　地瓜兒
碎米薺　苜蓿　蕺菜　牻牛兒
生瓜菜　蘑菰蕈　雷聲菌　大黄
附子　牙子　狼毒　莨菪子
烟草　茵芋　大戟　續隨子
鬼臼　蚤休　海芋　防葵
蔄茹　坐拏草　土紅山　攀倒甑

蕁麻　水茸草　茸遂　芫花
半夏　曼陀羅　劉寄奴　瓊田草
鷄頭草　野蘭根　半田回　兎兒傘
蕳蒿　半邊山　小兒群　薺薴草
野落籬　百乳草　建水艸　催風使
藜蘆　百藥祖　露筋草　獨脚仙
石逍遥　大木皮　百両金　烏藍
都管艸　黄寮郎　黄花了　刺虎
茶心草　苦竹子　無心艸　節貨汗
鷹爪　布里草　紫金牛　子午花

胡薑艸　茸露兒　石棗兒　杜莖山
華澄茄　麥李花　望江南　白屈菜
莽藤　竹辱　雷丸　夾竹桃
迎春花　金絲桃　木香花　笑靨花
郁李　錦帯花　刺桐花　玫瑰
寶相花　茶蘼花　金櫻子　波斯菊
木綿　吉利子樹　木半夏　賣子木
椿檉　珊瑚　酸棗　山茱萸
蔓荊　蠟梅　文冠花　密蒙
檍　橙　榠樝　棠毬子

棠梨　醋林子　無花果　龍荔

櫻桃　菴摩勒　椰子　檳榔

瞿子桐　婆羅得　婆羅密　藤黄

没藥　盧會　血竭樹　阿魏

龍腦香　菌桂　月桂　丁香

側柏　沉香　降真香　檜

茶梅　海桐　扶移　蘇方木

杜仲　烏藥　橄欖　楸樹

蕪木麪　烏構木　櫟木　相思子

巴豆　大風子　猪苓　訶梨勒

櫸　楠

○巻之十三　禽獣

鸑鷟　世樂鳥　秦吉了　鸐鳩

甘蔵鳥　海東青　鶻　鵟

鶨鶇　彰鷄　陽鳥　昆鷄

鷮鳩　玄鵰　旋目　方目

蒼鷄　白鷴　屬玉　鶺鳥

鵐　鵜鶘　信天翁　鸕鷀

翡翠　歌金鳥　鳩　蒿雀

突厥雀　黄鳥　繡眼兒　鴇

正 反舌 杉鶏 鼠母

鶻鵃 鵙鴂 鶪 華蟲

鶡雞 當扈 潔鉤 鷦鵬

服鳥 精衛 青耕 雝

飛蠊 鸓 瞿如 鵸鵌

治鳥 寒號蟲 石燕 麐獸

龍馬 白澤 果然 金猊

類 三角獸 角端獸 檮杌

貘 貔 赤豹 海豹

海牛 夔 嚙鐵 水犀

兕 犛牛 牦牛 羆

玃 獑 獑猢 野干

獨 蒙頌 魍魎 赤狸

風貍 乘黃 玄貀 天狗

犴 狡 黑狐 麂

荼首扎 挑拔 麈 比肩獸

隱鼠 狡兔 碩鼠 天馬

猛狗 猤犯狗 木狗 莧犬

諸犍 當康 羲 猛槐

鹿蜀 䑏疏 䴎 旄馬

菊虎　螢　蜮　水虎

謝豹蟲

唐土訓蒙圖彙目録終

唐土訓蒙圖彙巻之一

和名并ニ和訓附

天文

易に所謂仰て観二天文一とハ日月星宿の事也文とハ文章なり此部にハ太極より日月星の運行分野まで載てのせはべりし

太極とハ天地いまだ分れざるまへの理をいふ是一の圓これの形なり これ陰陽とわかるゝを両儀といふ二の象ハ陰陽変動静合して五行ハ是生る三の象ハ陰陽五行精合して陽ハ男となし陰ハ女となる是を四の象とす是れより万物生じて窮りつくる事なし五の象也

太極圖

陰静
陽動
火
水
土
木
金
坤道成女
乾道成男
萬物化生

南北極出地

二儀ノ圖

右の圖は午分
繋するものと
南北極にして南北
あるこゝろもと赤道の圖
らにして針は赤道よ斜ものを黄道の圏として北よをさゝものと又晝夜乃
圏として此よ逆さりのを晝長の圏として南は近きを晝短乃圏として
周圍に列ね宿布く諸圏星に並ふ共に渾象の内はたく今あくは略せ

黄赤道南北極之圖

又天地儀ともいふなり

天河総星圖

天漢ハ東方に起りて箕尾二星の間を経るといふ古説に漢津ハ金乃氣なり金生水乃理を以て云るなるべし或ハ水氣にありといひ星のあつまりて一定の練のごとくに見ゆれどもさりとて河の名を付るなり

予既に此編に於ハ太極より七星の理及六氣の運化八宿三十六禽の属十幹五行の要を詳にして載るといへども初学の急務にあらざれば観者の倦んことをおそれて省きて除去てこれを志るす者ハ予易学に心を潜ること多年其著ハ所の書 易学啓蒙索驥編 周易本義拙解 卜筮私考 同擲丸要訣 五行活套 星学知要 等の中に古の諸図天文易占の秘を収むと以て

山川

北極界 北極 南極界 南極

亞墨利加 南亞墨利加 墨瓦蠟泥加 新拂郎察 北道 大東洋 東大洋 空南

地球圖

いはゆる輿地全圖と以圓球のうへに地面の上下となく南北と分ち天と氣く不られ雲は[illegible]るおのれをたちしむ総そのふ様してわらまうしも置ことさら全茶まて悉曲まみ合へし

北

南

全

此輿地全圖ハ予壯年の時或人の家藏とうつて秘藏する事年をへて今年に至り寫まり書写を以て合縫し是ハ郭一圓毬圖にして今まてに元本ノ形狀とうつさす毫釐もたかふことなく一凸一凹の隈一嶋一川の小といへともあらさはしりて写すは只ちかひらくハ嵜内接ふして國名山川の記しとくと記すところのこらむ人とかひをしらするまとといふ

圖

蓬莱山 一名ハ蓬丘山一名ハ雲莱東海の中にあり高さ一千里地の方三千里上に金臺玉闕あり是神仙の都上帝遊息の所海水正黒にして風なけれど波浪萬丈人馬の往来することなし唯飛仙間よく到る者あり昔禹王水を治て輪車もの弱れと度て此山にいたらずといへり

琉球國圖

両越　東海の志に二越あり於越ハ其北にありあるひハ甌越ハ其南にありそのむかしはじめて一越なりけれ禹の後越王勾践のおさむる所なり漢のとき時に始ながし自ら別て東甌とし天台より北ハ於越の故都とし鳫宕より南を東甌の別壌とす

三呉　水経にハ呉興呉郡會稽を三呉とし通典にハ呉興呉郡丹陽を三呉として同じからず春秋の呉都ハ蘇常の間にあり三国の呉ハ初會稽の太守呉侯に封を後国とならの地ハ呉のわけれ呉王闔閭の都ハ姑蘇の地なり

関中 四塞の

關なるを中故まりいふ
明の陝西省西安府
にして古への周秦
漢晋唐いづれも
此所に都せられ
長安咸陽なんと
いへるはこれなり
西嶽華山も西
安府の内華陰県
にあり周秦漢唐
のみやこなれば終南
山渭水驪山鴻門
等の名山旧跡文
武始皇漢人の陵
墓多くこれあり

西山 大行山

より聯て起伏
数百里にして曾峯
峻西湖と滙とも
山と甕山とに小寺
あり圓靜寺と號す
たへ周りして石を
湖あり又次功德
わくこそ洪慈厳
寺あり三洞あり
又ゆきて香山寺
あり泉瀬く又
ゆきて平坡寺あり
う流の名或は一里
或は十里二十里の
廻絶僻山の大観
ゆまつりしまする
の名をそ知へし

三泖 呉の淞江のうち三泖ハ府城の西南三十六里にあり大史公か云泖の音ハ茂おもしとりよくさんみなもし蜀の陸機武帝は三泖ハ冬温に夏涼でこまかき所也泖は上中下あり故に三泖といふ浦く日より多く銀會浦か大盈浦黄橋門と銅塘石湖秀州塔あり名所多く比多し

洞庭湖

青草湖

洞庭君山 岳州府城の西南十八里にあり又湘山と名づく形ハ十二螺髻の如し昔堯の女湘君此より居せり上に楚頭寺軒轅臺柳毅井朗書亭飛昇亭山酒香山あり道書に第十一の福地とす

洞庭湖ハ雲夢湖青草湖とつらなりて君山をめぐる故に君山を洞庭山といふを京あとらく逐

赤壁山　武昌府

府城の東南九十里にあり宋の元豊五年乃秋七月十六日蘇東坡楊世昌といふ者と二人舟にのりてあそびさへ酒とのさかなてたのしむ世昌を吹洞簫をふきてその声いとあはれ蘇子これより曹操とその二人世のうへとおもひくらべつゐに賦をつくられ其文を前赤壁の賦といふ

九鯉湖　興化府

仙游縣にあり九仙宮山麓で峰をとなれ石上に飛泉ありそのみの味甘し漢の時何氏といふ者兄弟九人あり此泉を飲によりて仙人となりおのく鯉に乗りして上昇す故に俗此を何嶺といふ山を何嶺湖と仙湖水を仙水縣を仙遊し皆何氏仙の故を以なり九仙宮ここ宴餘多しといふ

滕王閣　隆興府

府城の西章江門城よりうへ閣りし唐の高祖の子元嬰此の都督とりし時此閣を建られ滕王に封ぜらる故に此名ありし又二亭あり南を壓江と北を挹翠といふ後ニ閻伯嶼都督となりて此閣を修復して時の序を王勃十三歳にて書ら名文し今此圖ハ文によりて潤色をとりぬ

岳陽樓　岳州府

大岳山の陽にあるゆへ故に岳陽といふ此樓ハ郡治の西南にして西面ハ洞庭湖を君山ならびし樓の創始されしことを志らず唐の開元年中中書令張説出て此郡に守たりし時日ごとに才士と登臨して詩をつくられよりして樓の名あらはれ後ニ宋の滕宗諒つかさどりて范希文に記をつくらしめ蘇子美是を書き邵竦其の首に篆し世に四絶と稱ス

黄鶴楼　武昌

府城西にありむかし費登仙黄鶴に駕して此に憩へり故に遂に楼となづく其掎へ巍として上ハ河漢より下ハ江流にのぞむ岳陽楼と此楼とハ一双のかん先色とまうされ

○崔顥登楼詩ニ
昔人已乗黄鶴去
此地空餘黄鶴楼
黄鶴一去不復返
白雲千載空悠々
晴川歴々漢陽樹
春艸萋々鸚鵡洲
日暮郷関何処是
煙波江上使人愁

天台山　天台

山ハ天台県の西一百二十里天台山ハ八重わかれところとのが一乃ごとし高さ一万八千丈周廻八百里高大の故を以て上天の三台星に應ずる故台嶽と称し此寺院若干ありその外石橋ハとりて半天にかかり瀑布ハ深くて雷声をなせり洞天桃源乃類多くまとく記しかたし

泰山　東

山東齊南府泰安州にあり五嶽の東也一名天孫天帝の孫といふ心召魂とつかさどる王者命を受る時ハ必封禅ス皆石に刻て功をあらはス

衡山　南

荊州の山鎮五岳の南也周旋数百里高四千一十丈東南ハ湘川このうへ湘川より長沙にいたる七百里九向九背し禹王登てこれをきはむる也

華山　西

豫州の山鎮五岳の西なり頂に池あり千葉の蓮をとを生けれを服すれバ羽化すべし華山といふその名勝旧蹟ことく記がたし

恒山　北

山西大同府五岳乃北なり恒ハ常也常山のたかさ三千九百丈七尺周廻三千里大玄の泉神草十九種あれと秘して世と度へし

嵩山

河南府登封縣にあり中岳なり大にしてたかき故に山名あまたあり山東を大室といひ西を少室といふあひさること十七里嵩高を總名なり二山各石室あるゆゑにかくいふ

少室 大室 初祖洞 嵩門 煉魔亭 三祖菴 嵩陽宮 漢封三柏 登封

雪堂

蘇子瞻元豐三年二月に黄州に謫されしに馬正卿より廢壘を與へられ雪中に造作してうつし故に四壁に雪を畫く雪堂となづく

羅浮山

増城博羅二縣にあり連て邈に海上にのぞむ高さ三千六百丈峰巒四百三十二寺楼白水石巌洞池のかずくことく〳〵しるしかたし

鹿門山

襄陽城の外にあり嶄山盤拱に沔水襄抱て其所に隠士の居しむかし龐德公あるは隠居すと唐の孟浩然夜帰鹿門歌ありすいひおもふへし

峨眉山

嘉定州峨眉縣にあり峨眉は三山大峨中峨小峨とし大峨其高さいふべからず佛書に云普賢大士示現の所なりと

養龍坑

長宮司両山の間にありその
かくうの水は源にして雲霧下にかゝりうえ
乃時雲霧晦冥ぬ旋して出いでて馬と
接りて出に駿駒を産む洪武四年に九
丈長丈餘のもの入と云ふ[illegible]

五湖

呉郡の西南にありその廣さ三萬六千頃中に山七十二ありて三萬と襟帯せり一名具區一名笠澤一名五湖と名づくすべて大湖といへり

大庾嶺

南安府城西南五里にあり山高く嶮へしり此嶺の路峻阻らく通じがたかりしを唐の張九齢石壁を鑿て新路とひらきしより嶺上に梅多し故に梅嶺とも名づくといへり

石頭城 呉人石頭に據て城とす故にいふ諸葛亮が石頭虎踞といへる是なり石頭西山嶺の下大江に臨める洞天ありとし洞天とした

桃源洞 常徳府桃源県桃源山
桃源洞あり一名は秦人洞洞の北に桃花渓あり晋の太元年中武陵の人秦を避る人にあひしところなり

爛柯山 一名は石室下に石橋あり
道書に此山を青霞第八の洞天となづく王質此山に入て童子乃奕をみて斧の柯乃爛るを覚ゆる里

京口三山 北固山は京口城の北にあり
下長江にのぞむ金山は揚子江の心にありて下其の山とし焦山は京口城の東北にあり江中に峙て三の山皆鎮京

雲間九峯

所謂雲間ハむかし晋の陸雲が雲間陸士龍の語あるよりて名付く九峯ハ秀たる峯九ツあれバしかいふ

首陽山

蒲州の南にあり伯夷叔斉の隠れし処也祠のまへに二柏樹あり根ハ相距ども上ハ交て兄弟の相倚が如し二隠士をまつりたる処といふ祠のまへに白鹿の翔立あり二賢薇を含ひ兼鹿乳をのむ故なりといふ

岐山

漳州府城の東十五里にあり鶴鳴山と聯りて岐山三峯秀て龍江の上に峯ならぶこと十里ばかりなり五代の時僧楚熙こゝに居せり

廬山

南康郡にありその盤三百餘里たいに彭蠡と距り北ハ江漢と阻て顔楚之あいだ豫章の綴九と偏り崇峰峻嶺飛泉絶壑良田その外つくしがたし